

《別冊資料》

生徒数の分布と学校までの直線距離

田川市新中学校のあり方に関する審議会

第 11 回 会議資料

《資料の設定》

- ① 猪位金校区を除く7中学校区を、2中学校区（東中学校、西中学校）に再編すると仮定
- ② 東中学校区は、金川小学校、伊田小学校、田川小学校、鎮西小学校の4校区で構成
- ③ 西中学校区は、大藪小学校、後藤寺小学校、大浦小学校、弓削田小学校の4校区で構成
- ④ 東中学校区は7年後、西中学校区は6年後の中学生人口を集計（ともに最大人口となる年度）
- ⑤ 東中学校区は3学年合計730人、西中学校区は3学年合計618人

《資料の見方》

1. 東（西）中学校区内にある中学校と校区内人口の分布 ……P2～3

～ 現金川中学校敷に東中学校を設置する場合 ～

- ① 金川中学校区内にいる195人は、これまで通りの通学範囲となるので集計外とする。
- ② 東中学校区内の残る生徒535人（伊田小校区、田川小校区、鎮西小校区の生徒）が、金川中学校から何kmの地点に、何人住んでいるかを示している。
- ③ 横軸が学校までの距離、縦軸が生徒数を表している。
- ④ 金川中学校から2km離れた地点に17人、3km離れた地点10人、4km離れた地点2人、5km7人いることを示している。

※ただし、実態として中学生人口の1割強が市外中学校に通っているため、グラフ上の数値から1割強程度の数が減少すると想定される。

2. ○○中学校までの直線距離と生徒数（行政区別） ……P4～5

～（例）金川中学校までの直線距離と生徒数（行政区別）～

上記分布図では、何km地点に何人生徒が住んでいるかをみることはできるが、どの地区に住んでいる生徒であるかは分からない。グラフの人数が、どの行政区に住んでいるかを示したものが本表である。

金川中学校から2km離れた地点に住む17人を本表で確認すると、魚町2人、桐ヶ丘5人、糸飛1人、新町3人、日の出町3人、古賀町1人、上伊田西2人となっていることが分かる。